

MRAPID

Monthly Report on Aomori Prefectural Infectious Disease

青森県感染症発生情報

青森県感染症情報センター

(青森県環境保健センター内：担当 微生物部)

2006年1月 (2006年2月10日発行)

TEL 017-736-5411 FAX 017-736-5419

青森県環境保健センターホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html>

1. 第1週から第4週(1月2日~1月29日)までの動向

1) STDは昨年12月に比べて患者数がやや増加しました。10代後半から30代前半の女性の患者数が増加し20代の男性の患者数は減少しました。また、疾病別では、尖形コンジロームが増加し、淋菌感染症がやや減少しました。

2) 全数把握届出疾患は次のとおりです。
弘前保健所管内 バンコマイシン耐性腸球菌感染症：1名

2. STD発生状況

1) 保健所管内別

	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
75 性器クラミジア	4	1.33	14	4.7	7	3.50			5	2.50			30	2.31
76 性器ヘルペス	2	0.67	2	0.7	1	0.50	1	0.50					6	0.46
77 尖形コンジローム	4	1.33	3	1.0	3	1.50							10	0.77
78 淋菌感染症	2	0.67	1	0.3	5	2.50			1	0.50			9	0.69

2) 年齢別・性別

年齢	75 性器クラミジア		76 性器ヘルペス		77 尖形コンジローム		78 淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0~1										
1~4										
5~9										
10~14										
15~19	1	9					1		2	9
20~24	2	7	1		2	2	1		6	9
25~29	1	3	1	1	1			2	3	6
30~34	1	2	1		4	1	3		9	3
35~39	1			1			1		2	1
40~44	1		1						2	
45~49										
50~54	1						1		2	
55~59										
60~64										
65~69										
70~		1								1
合計	8	22	4	2	7	3	7	2	26	29

3. 薬剤耐性菌発生状況

1) 採取部位別

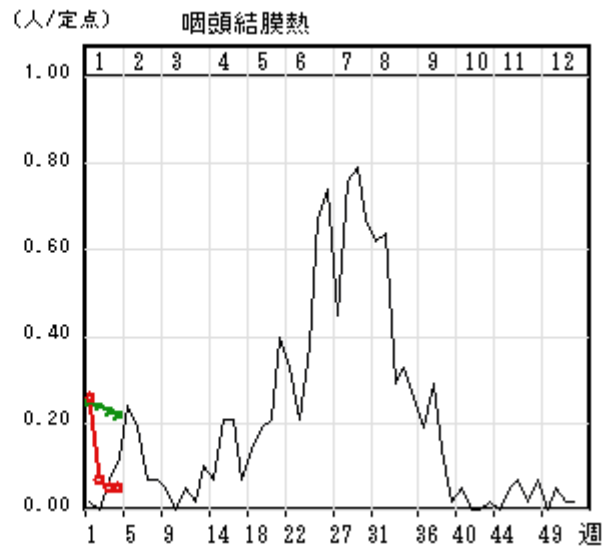
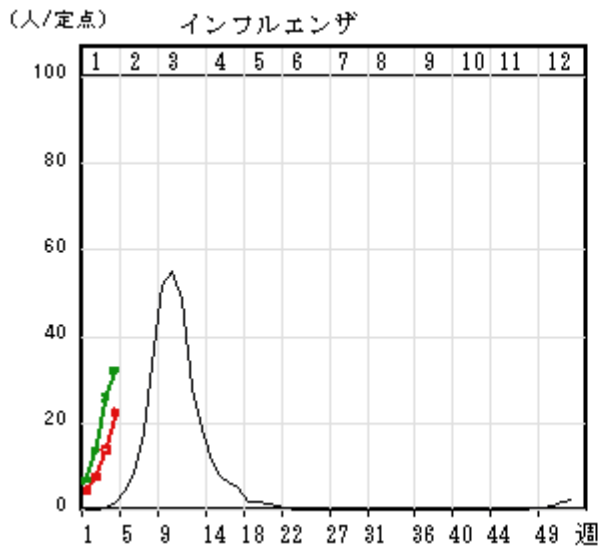
	採取部位別											青森県合計
	喀痰	留置カテーテル	術創部(創部感染)	耳漏液	気管洗浄液	血液	髄液	胸水	腹水	膿	その他	
85 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3										6	9
81 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
86 薬剤耐性緑膿菌感染症												

4. 全数把握感染症 (2006年)

	疾患名	青森県		全国			疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計			当月	累計		
1類 感染症	1 エボラ出血熱					4類 感染症	32 日本紅斑熱				
	2 クリミア・コンゴ出血熱						33 日本脳炎				
	5 ペスト						34 ハンタウイルス肺症候群				
	6 マールブルグ病						35 Bウイルス病				
	7 ラッサ熱						36 ブルセラ症				
	8 急性灰白髄炎						37 発しんチフス				
	9 コレラ			3	3		38 ボツリヌス症				
2類 感染症	10 細菌性赤痢			29	29	39 マラリア			3	3	
	11 ジフテリア					41 ライム病					
	12 腸チフス			4	4	43 レジオネラ症			11	11	
	13 パラチフス					45 アメーバ赤痢			12	12	
3類	14 腸管出血性大腸菌感染症			31	31	46 ウイルス性肝炎			6	6	
4類 感染症	18 エキノкокクス症			4	4	47 急性脳炎					
	19 黄熱					48 クリプトスポリジウム症					
	20 オウム病			2	2	49 クロイツフェルト・ヤコブ病			12	12	
	21 回帰熱					50 劇症型溶血性レンサ球菌感染症			6	6	
	22 Q熱					51 後天性免疫不全症候群			26	26	
	23 狂犬病					52 ジアルジア症			7	7	
	25 コクシジオイデス症					53 髄膜炎菌性髄膜炎			1	1	
	27 腎症候性出血熱					54 先天性風しん症候群					
	28 炭疽					55 梅毒			18	18	
	29 つつが虫病			4	4	56 破傷風					
	30 デング熱			2	2	58 パンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	2	2	

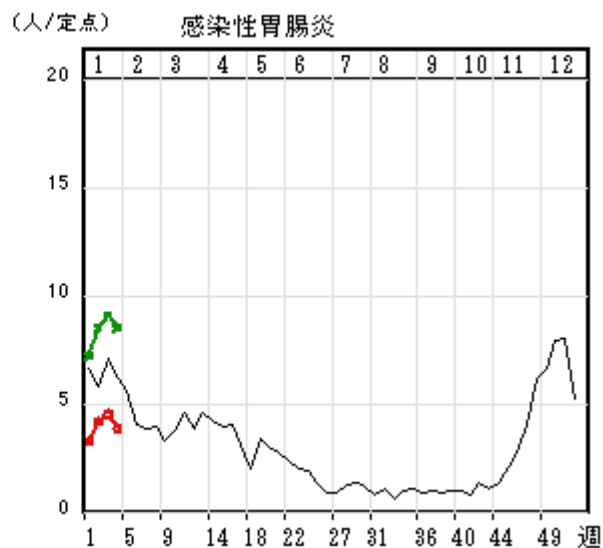
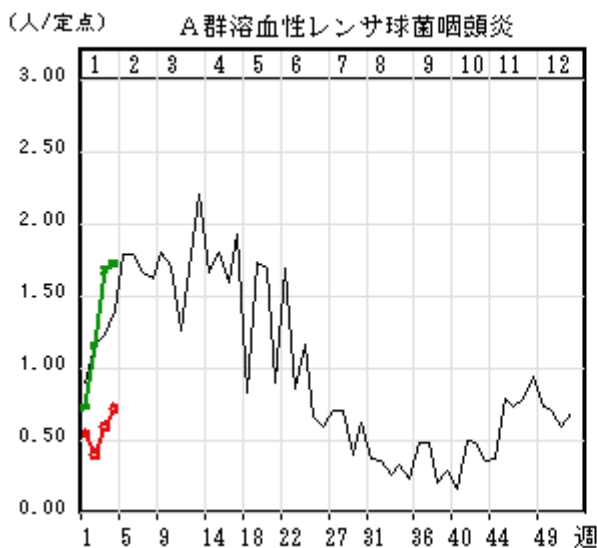
5. 定点把握感染症の推移

○—○ : 当年(青森県) — : 前年(青森県) ×—× : 当年(全国)

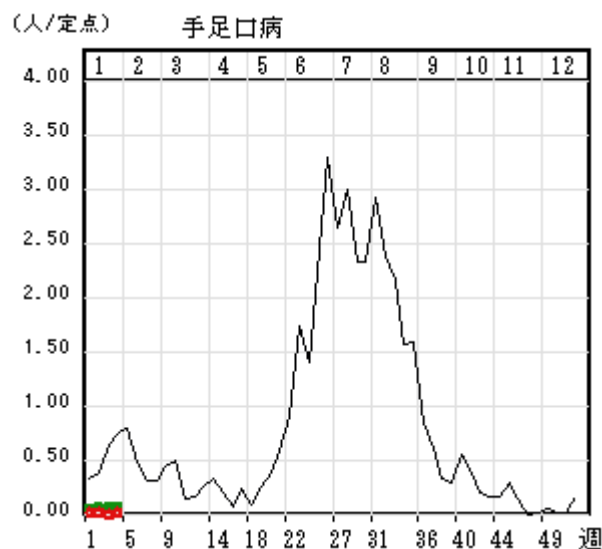
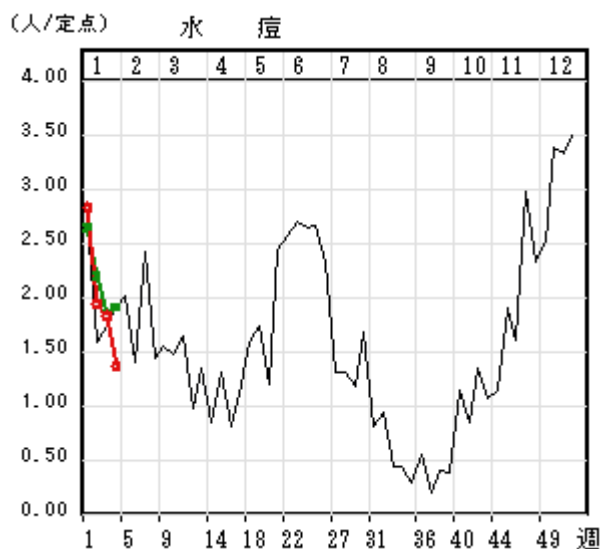


インフルエンザは、急激な増加傾向にあります。咽頭結膜熱は、一時増加しましたが、減少しました。

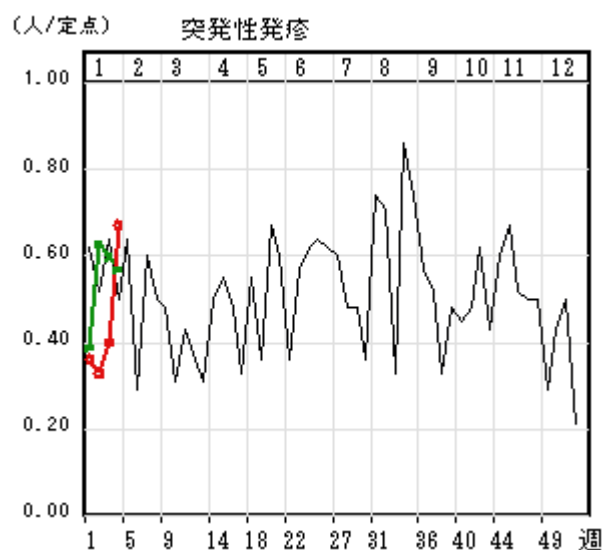
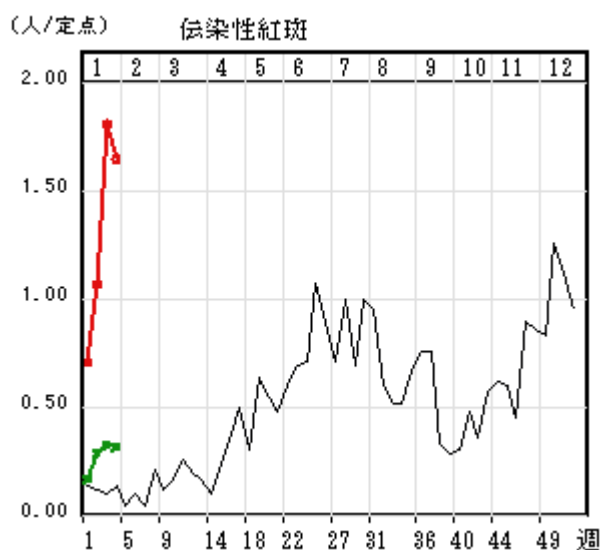
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、増加傾向にあります。感染性胃腸炎は、全国値を下回って推移しています。

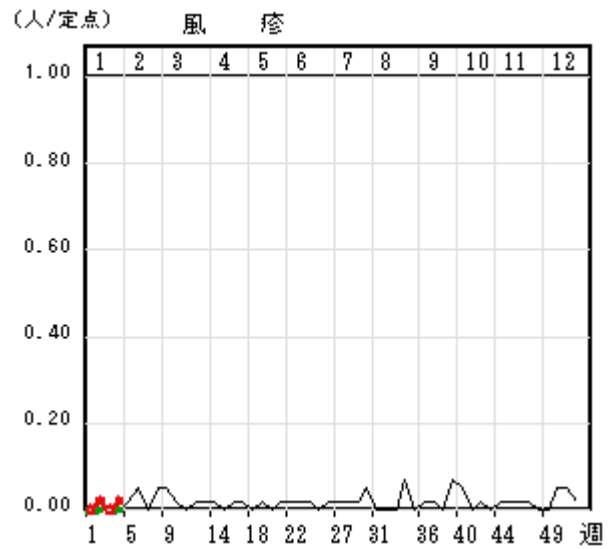
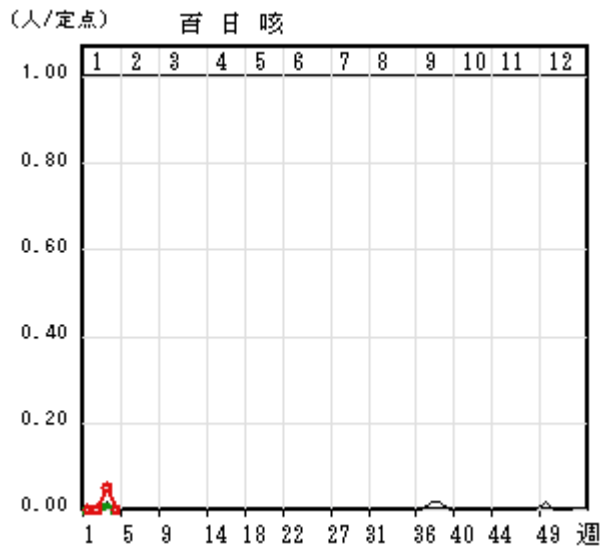


水痘は、減少傾向にあります。手足口病は、低く推移しています。

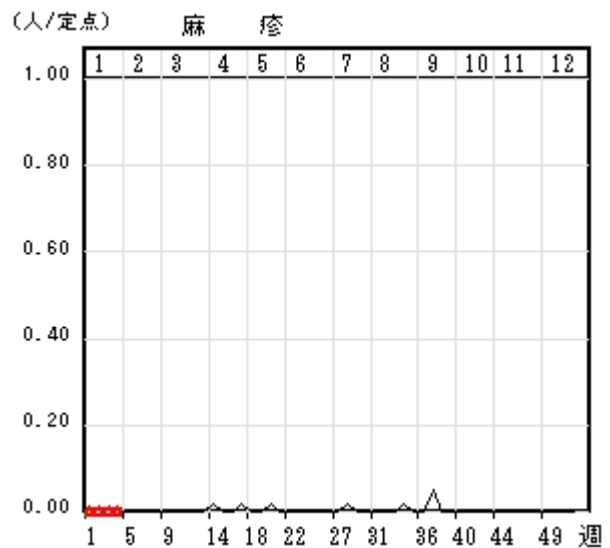
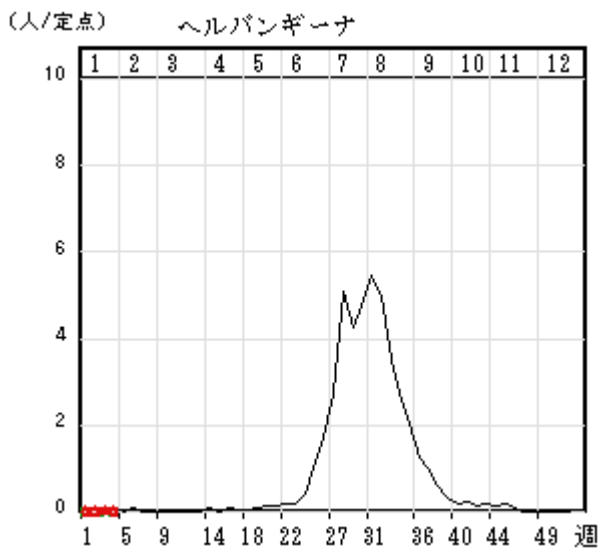


伝染性紅斑は、増加傾向にありましたが、やや減少しました。突発性発疹は、増加傾向にあります。

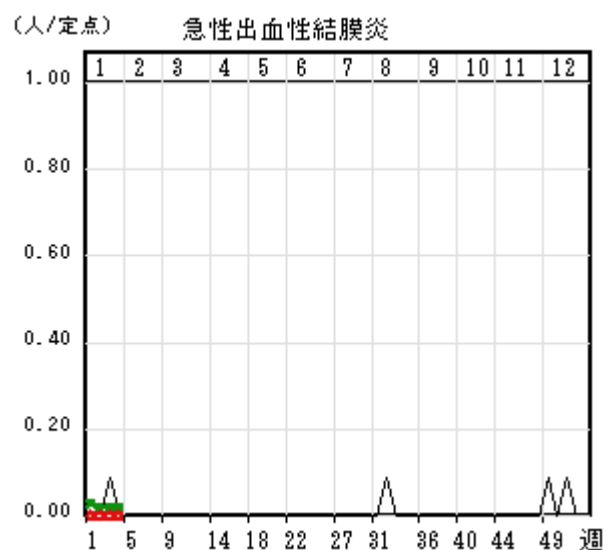
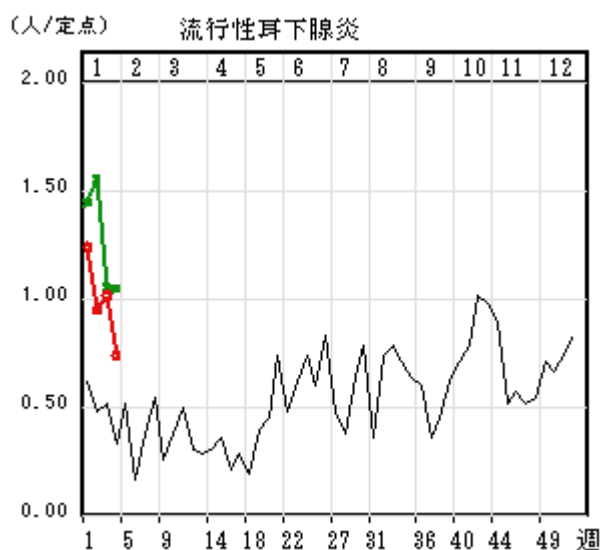
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



百日咳は、当月中2件の発生報告がありました。風疹は、低い値で推移しています。



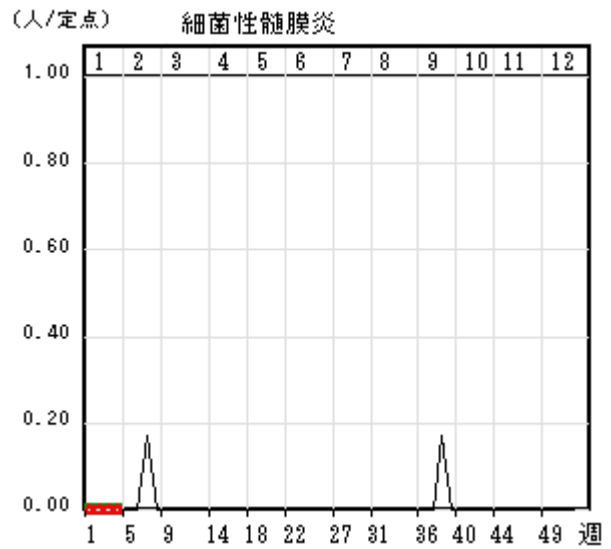
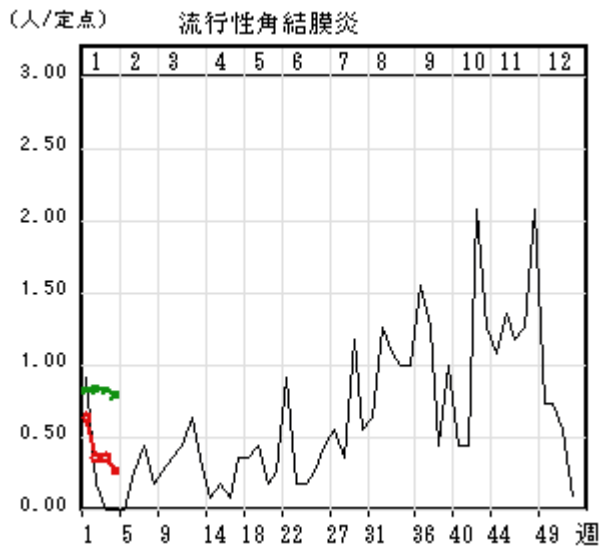
ヘルパンギーナは、当月中1件の発生報告がありました。麻疹は、当月中の発生報告はありませんでした。



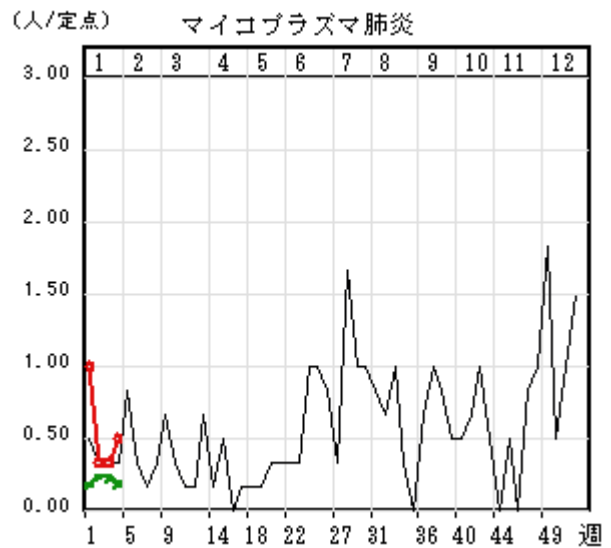
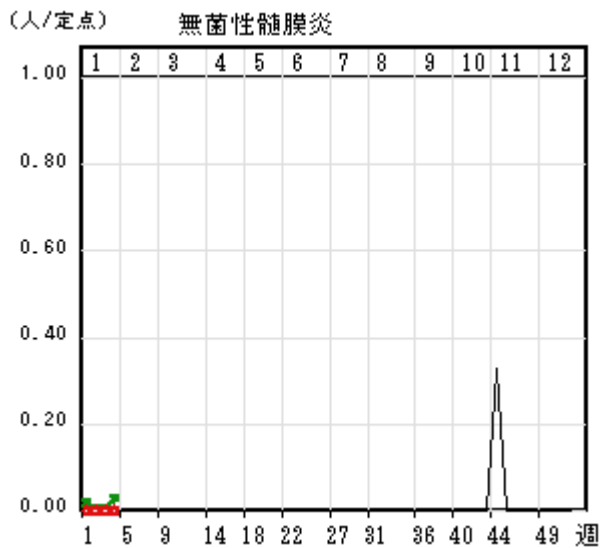
流行性耳下腺炎は、減少傾向に転じましたが、昨年同期より高く推移しています。

急性出血性結膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。

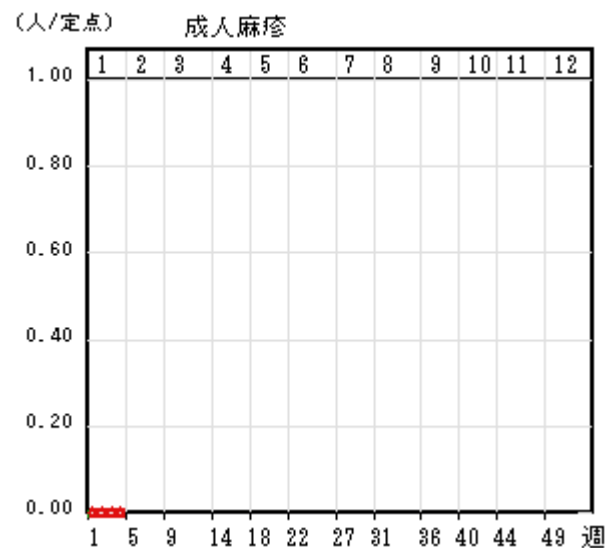
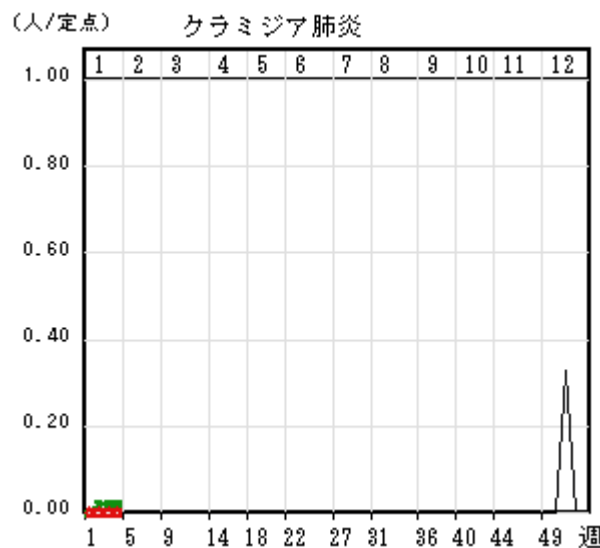
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



流行性結膜炎は、一時増加しましたが再び減少しました。
細菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。



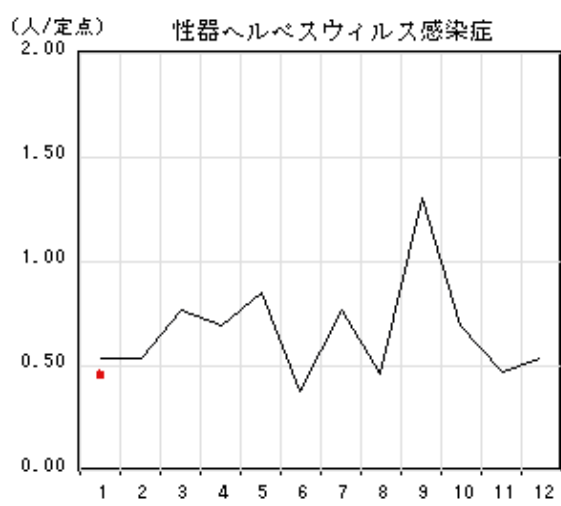
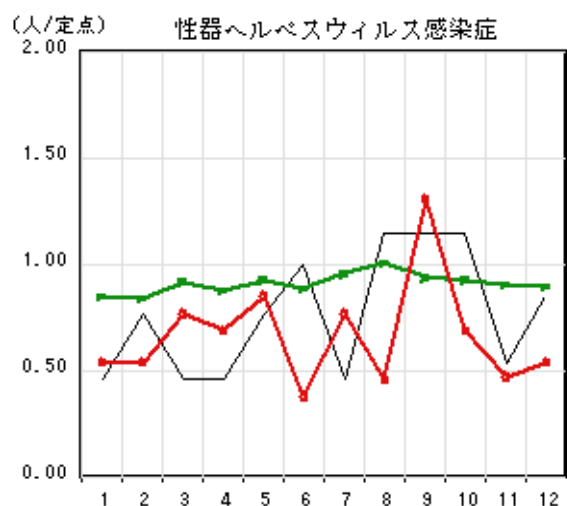
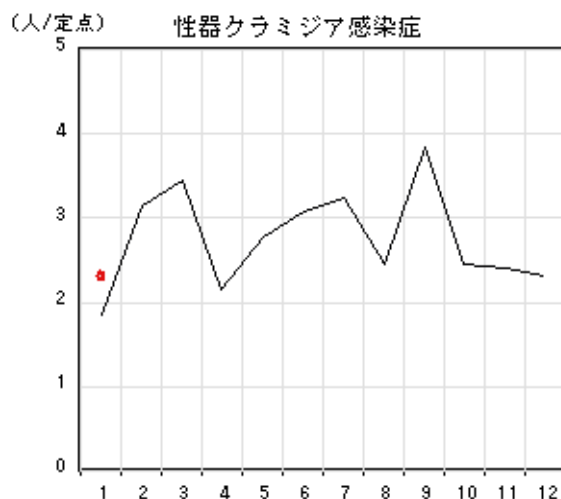
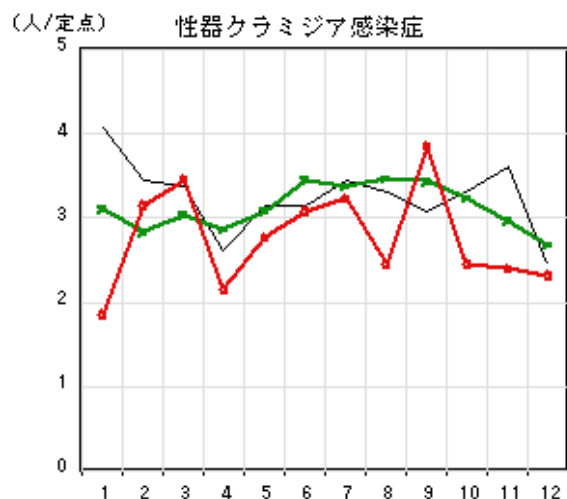
無菌性髄膜炎は当月中の発生報告はありませんでした。マイコプラズマ肺炎は、減少しました。



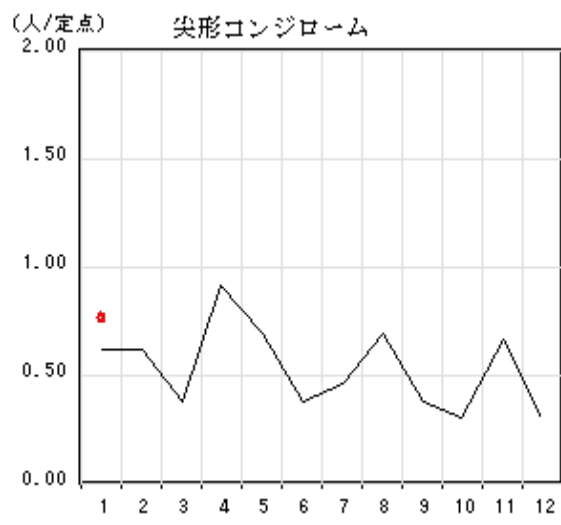
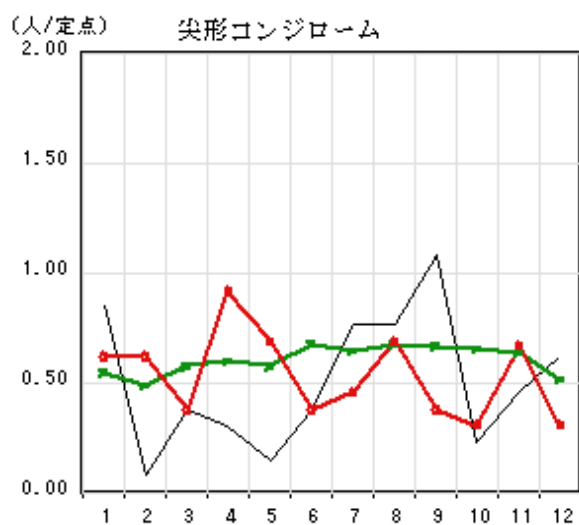
クラミジア肺炎、成人麻疹とも当月中の発生報告はありませんでした。

6.STD 感染症の月別推移

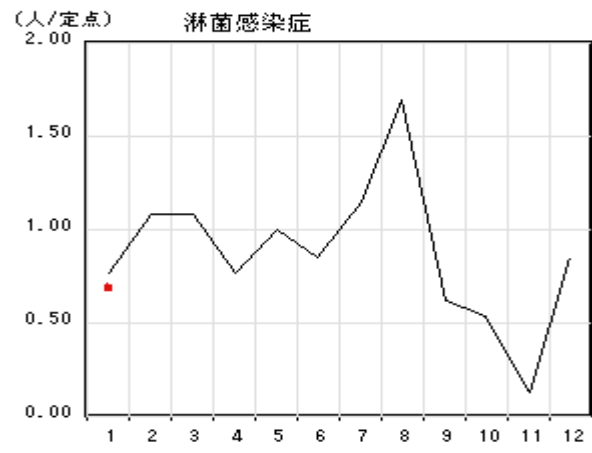
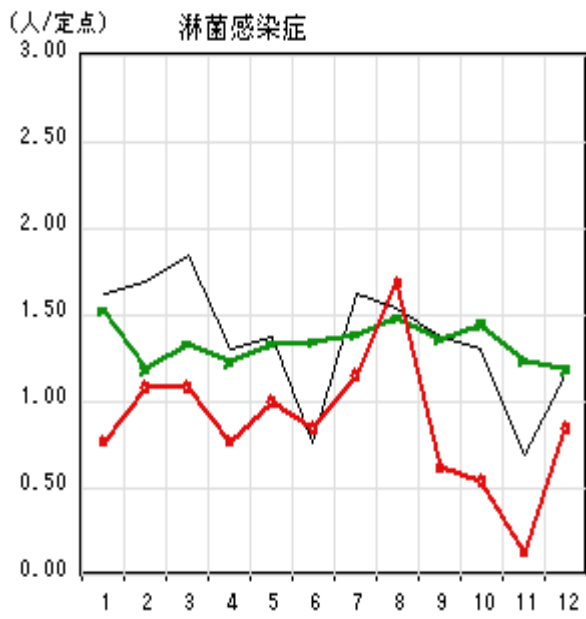
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



性器クラミジア感染症及び性器ヘルペスウイルス感染症は、ほぼ横ばい状態です。



尖形コンジロームは、増加傾向に転じました。



淋菌感染症は、減少傾向にあります。